

授業の具体的展開例

T：今日から、皆さんに新聞記事を書いてもらいます。ではまず、前回の授業で勉強した新聞の紙面構成について確認しましょう。新聞の紙面にはどのような構成要素がありましたか。

C：見出しがありました。

C：リード文がありました。

C：本文がありました。

C：写真もありました。

T：そうでしたね。4つの要素がありましたね。では見出しの特徴を教えてください。

C：記事の内容を短い言葉で表したものでした。

T：見出しを比較して分かったことは何でしたか。

C：見出しを読むと書き手が注目していることが分かりました。

T：そうですね。では、リード文というのはどのようなものでしたか。

C：本文の前につけられてその記事の概要が書かれています。

C：5W1Hが書かれています。

T：5W1Hというのは何のことでしたか。

C：「いつ、どこで、だれが、何を、なぜ、どのように」のことです。

T：そうでしたね。では、各自で新聞記事を考えましょう。今日は見出し・リード文とレイアウトまで考えます。見出しとリード文については、それぞれの特徴と役割をしっかりと頭に入れて書きましょう。

「活用」の力を育てる評価の工夫

第1次（第1時、第2時）はワークシートを活用して学習を進めるので、このワークシートによって評価する。

第2次（第3時、第4時）は第5時で発表した新聞記事と、各時間に机間指導をして得た情報によって評価する。

その他に、毎時間、自己評価をさせる。

「活用」の力を育てる評価の視点

各時間における「活用」の力を育てる評価の視点は以下の通りである。

第1時

実際の新聞で、見出し・リード文・本文・写真を指摘しその特徴や役割についてまとめている。

第2時

4つの構成要素について2つの記事を比較し、共通点と相違点を指摘している。

第3時

5W1Hなど新聞記事の特徴を理解し、適当な題材をえらび、見出し・リード文を書いている。

第4時

相手や目的を意識して記事本文を書いている。

第5時

新聞記事の特徴に沿って記事を書き、相手に伝わるように編集の仕方や表現の工夫をしている。

板書例

（次回の活動）
記事本文

（今日の活動）
見出し、リード文
レイアウト

写真

本文

リード文

見出し

新聞の紙面構成

新聞の特徴を生かして書こう

HOME

単元の流れへ

本時の流れへ

評価問題